

日頃の備え／自助



家族で防災会議 ✓

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。

いざという時に、あわてず行動できるよう家族で普段から話し合っておきましょう。また、災害に備えて家中と外をチェックし、危険な箇所は確認するようにしましょう。

話し合いたい項目

- 家の付近の浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の確認
- 災害が起こった時の身の守り方
- 家族間の連絡方法と最終的に会う場所
- 災害別の避難行動
 - 避難所とそこへ行く経路
- 家族一人一人の役割分担



家族の安否確認、非常持出品・備蓄品の準備・点検、避難経路の確保、隣近所への連絡など
※乳幼児・高齢者・病人・妊婦のいる家庭は、その避難方法も話し合いましょう。

我が家の中の安全対策を確認しましょう

安全と思われる家の中や家のまわりでも災害時に避難や救助の妨げになったり、落下物によるケガなどの被害を引き起こすことがあります。災害に備えて日頃から点検する習慣をつけましょう。

家の中の安全対策



- 家具の転倒、落下防止のため、金具などで固定する。



- 飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。



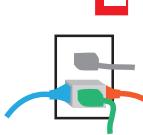
- 重たい荷物は高い所に置かず、床に置いておく。



- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備する。



- 住宅用火災警報器、住宅用消火器を設置する。



- タコ足配線やコードを束ねて使用しない。

家の外の安全対策

